

「まちづくり・地域の元気づくり」

地域の方とともに リピーターを増やすための

JR九州 鉄道事業本部 営業部

地域の皆さまと連携して 地域の魅力を発掘

地域の魅力に触れる「JR九州ウォーキング」や鉄道を利用したツアーの企画では、広く知られた名所や名物だけでなく、地元の方が推したいものを調査し、その土地の新しい魅力発見を地道に行っています。いただいた情報だけでなく、SNSで自分でリサーチした店舗に飛び込み、ウォーキング以外のイベントにも出店いただくなど、ご縁が広がることも。コアなリピーターも多いJR

九州のコンテンツを活用して、またここに来たいと思ってくれる地域のファンを増やすため、地元の皆さまとともに取り組んでいます。

九州を元気にしたい！



JR九州 営業部
村島万理

JR九州 営業部
酒井紘子



久留米鉄道事業部時代：おおむたミライ会議に参加

どれだけ前向きに進められるか 困難もともに乗り越えてきた

コロナ明けのイベント出店には消極的な店舗もありましたが、事業者の方から「過去最高の売り上げになった！」とうれしいお声をいただきました。地域の方からはダイヤについて厳しいお声を頂戴することもありましたが、「一緒に前に進もう」と、逆に励まされたこともあります。地域の皆さまと協力してイベントに合わせ臨時列車を走らせるなど、自分達ができる盛り上げ方を模索。JR九州だからこそその地域の方々との繋がりが、地域の盛り上がりや充実感が次への意気込みになっています。



企画から当日の司会まで幅広く取り組んでいます！

地域を元気にするために フットワーク軽く相談に対応

イベントやツアーについては、自治体の皆さまとの打ち合わせから列車や会場の手配はもちろんのこと、告知ポスターのデザインやSNSでの宣伝、イベントの司会までジャンルを問わず何にでもチャレンジしています。九州を元気にしたい！なんでも相談してもらいたい！という会社なので、どんなことでもお互いに歩み寄りながら連携していけたらと思っています。

INTERVIEW

地域連携に対する JR九州の思い

「九州ふるさと納税」の決意 九州に特化したイメージの醸成へ

JR九州商事 食品・EC事業部

九州に特化したふるさと納税ポータルサイト

2023年開設したばかりの新しいふるさと納税ポータルサイト「九州ふるさと納税」。九州を代表する特産品や、まだ知られていない隠れた魅力を全国に送り出すべく、動き始めています。JR九州グループとして「九州の中から九州の自治体を応援していく」という決意で、あえて他の地域は載せていません。地域の魅力づくりや活性化に繋がる返礼品開発も一緒にやっていきたいと考えています。

地域に人が訪れる JRならではの返礼品開発

現地を訪れてもらえるようなアクティビティをパッケージにした体験型の返礼品、駅や鉄道といったJRならではのアセットを活かした地域に訪れていただく返礼品の開発を構想中です。ヒントになる材料を探すため現地を訪れると、生き生きとした地域の皆さまの話や魅力を直に感じられ、大きなやりがいになっています。

オール九州を目指す！

全自治体にご参画いただけるサイトへ

夢は九州の全自治体にご参画いただくこと。地域の皆さまとともに返礼品を開発したいという思いもあります。近い将来、「九州に寄附をするなら『九州ふるさと納税』と選んでいただけるよう、一緒にこのサイトを育てていきませんか？

鉄道を活かした
返礼品の開発と一緒に！

JR九州商事
諸永佑介



「きゅうふる」での検索結果が
最近トップになりました！

JR九州 工務部

駅と駅周辺が人でにぎわう仕組み ハードとソフトの両面で考える地域活性化

駅を中心としたにぎわいづくりにはソフト面での活性化が特に重要です。都市部やご利用者数の多い駅では商業開発などが行われにぎわいを見せていますが、そうでない駅は事業自体が成り立たず、にぎわいづくりが難しい状況です。ハード整備だけでなく、どのような機能がそのエリアに必要なか、どのような仕組みにすれば営んでいけるか、という視点で地域の方々と積極的にお会いし検討を進めています。

駅のにぎわいづくり「ekinico」スタート！

にぎわいを失いつつある駅舎に生まれた空間を地域の皆さまとともに工夫して活用することで、持続可能な「駅のにぎわいづくり」を目指す新たな繋がりが「ekinico（えきにこ）」をスタートしました。「駅でにっこり」「駅に行こう」という、駅ということばにポジティブなメッセージと「nico」にはすべての人と連携して継続的に光を照らす思いを込めています。2024年には地域で繋がった事業者やNPOの方々と一緒ににぎわいづくりを進め、旧駅事務室の一部をリノベーションして、荒尾駅（コミュニティスペース）・筑後吉井駅（コーヒータウン）・南久留米駅（シェアキッチン）が開業しました。

九州は宝の山、地域創生の輪を広げる

新たな視点で見れば九州は宝の山。地域を活性化する方法はいくつもあると思っています。上手に活用してくれる、思いを持った地元プレーヤー、連携する自治体、ここに地元の学校なども加わればさらに面白いアイデアやネットワークが生まれると思い、2024年度からは福岡県や大分県の一部の大学とも協力しながら活性化を進めています。将来九州にプラスに働くような地域創生の輪を広げていくために、地元の駅をぜひ一緒に活用していきましょう！



地域の熱心なプレーヤーと挑む
駅を活用したまちづくり

お互いが
Win-Winになる
駅の活用を

JR九州 工務部
福田健一